

# 平成29年度 研修実施結果報告

## I 研修講座事業

### 1 概要

- (1) 新規開設研修講座
- (2) 研修講座の改善点

### 2 実績

講座数・受講者数

### 3 成果と課題

- (1) 成果
- (2) 課題

### 4 平成29年度 研修講座一覧

### 5 その他（出前講座による研修支援）

- (1) 支援の実績
- (2) 成果と課題

## II 教育研修員研修事業

### 1 概要

### 2 実績

- (1) 研修員数
- (2) 研究領域等

### 3 成果と課題

- (1) 長期研修員
- (2) 長期社会体験研修
- (3) 特別研修

平成30年5月28日  
群馬県総合教育センター

# I 研修講座事業

## 1 概要

第2期群馬県教育振興基本計画の基本目標「たくましく生きる力をはぐくむ～自ら学び、自ら考える力を～」の実現に向け、教職員のライフステージに応じて研修を体系化した「ぐんま教職員ステージアップシステム」に基づいた研修を実施し、教職員の資質能力の向上を図った。

### (1) 新規開設研修講座

教育の今日的課題への対応やライフステージに応じた研修の充実を図るために、新規に7講座を開設した。

- ① 基幹研修 「小・中学校2年目経験者研修」「高校2年目経験者研修」  
「高校6年目経験者研修」「高校実習教員6年目経験者研修」
- ② 指定研修 「高校英語科教員指導力向上研修」
- ③ 希望研修 「英語科授業づくり研修講座」「小・中学校臨時的任用教職員研修講座」

### (2) 研修講座の改善点

#### ① 管理職の研修

○多様化する新たな教育課題等の解決に向け、魅力ある学校づくりのための組織運営を実現する教育課程や人事管理等の校長実務に関する実践的研修を充実させ、学校経営力の向上を図った。

#### ② 臨時的任用教職員の研修

○小・中学校の臨時的任用教職員が自らの使命を認識し、学習指導や生徒指導等に関する基本的事項の理解を深める研修講座の開設を通して、実践的な指導力の向上を図った。

#### ③ 今日的課題に対応した研修

○教職員の服務と人事評価制度の理解、学力向上に向けた授業改善、小・中・高校を通じた英語教育の充実、性同一性障害等の理解を深める人権教育、不登校の未然防止や自殺予防教育に関する研修内容の充実などを通して、今日的課題への対応力の向上を図った。

#### ④ 初任段階の研修

○2年目経験者研修（小・中・高校）、6年目経験者研修（高校、高校実習教員）を新設し、初任段階における連続性のある研修の推進を通して、実践的な指導力の向上を図った。

## 2 実績

講座数・受講者数

( )内は平成28年度

	講座数	開催日数	研修日数	受講人数	受講対象者
基 幹 研 修	33 <sup>講座</sup> (28)	215 <sup>日</sup> (199)	195 <sup>日</sup> (182)	1,975 <sup>人</sup> (1,546)	経験年数に応じて受講
指 定 研 修	32 (32)	74 ( 81)	61 ( 61)	2,525 (2,559)	職種・職務に応じて受講
希 望 研 修	35 (34)	96 ( 98)	88 ( 84)	1,868 (1,777)	教職員の希望者が受講
公 開 講 座	4 ( 4)	5 ( 4)	5 ( 4)	345 ( 292)	一般県民を含む希望者が受講
全 体	104 (98)	390 (382)	349 (331)	6,713 (6,174)	

## 3 成果と課題

### (1) 成果

- 管理職の研修において、組織及びカリキュラム、リスク等のマネジメントに関わる講義・演習を実施することにより、学校経営力や組織運営力の向上に結び付けることができた。
- 小・中学校の臨時的任用教職員の研修において、教職員としての服務をはじめ、学習指導や児童生徒理解、保護者対応、健康・安全に関する具体的事例や演習を取り入れることにより、実践に生かせる指導力の向上を図ることができた。
- 初任段階の研修において、小・中学校及び高校2年目経験者研修で教科指導力や学級経営力に関する講義・演習を実施することにより、初任段階の課題解決に資するとともに、実践的な指導力の向上を図ることができた。
- 小学校における外国語教育の早期化・教科化に向けて、小・中・高等学校を通した実践的な研修を実施することにより、外国語教育の専門性の向上や指導力向上等の充実を図ることができた。

### (2) 課題

- 群馬県教員育成指標を踏まえ、キャリア段階Ⅲにおける研修において、学校全体の課題を把握する力、組織的な取組に向けた企画力・調整力が求められる教職員を対象にカリキュラム・マネジメントや組織マネジメントを推進するための研修の充実を図る必要がある。
- 学習指導要領の改訂等、今日的な課題に対応するために、情報活用能力の育成、英語の早期化・教科化・高度化、生徒指導・教育相談の組織的対応などに関する研修内容を充実させていく必要がある。
- 指定研修における内容や日数等の精選、希望研修における講義等の選択受講の拡充など、教職員の多忙化解消、職務における資質能力の向上への対応を図る必要がある。

#### 4 平成29年度 研修講座一覧

No.	研修講座名	開催日数	研修日数	受講人数
1	幼稚園等新規採用教員研修	10	10	190
2	小・中学校初任者研修	26	19	204
3	高校初任者研修	21	19	61
4	特別支援学校初任者研修	20	20	37
5	新規採用養護教員研修	12	12	14
6	新規採用学校事務職員研修	7	7	27
7	高校新規採用実習教員研修	6	6	5
8	新規採用寄宿舎指導員研修	3	3	3
9	小・中学校2年目経験者研修	3	2	189
10	高校2年目経験者研修	2	2	71
11	幼稚園等3年目経験者研修	2	2	54
12	小・中学校3年目経験者研修	12	5	204
13	高校3年目経験者研修	4	4	64
14	特別支援学校3年目経験者研修	4	4	22
15	学校事務職員資質向上研修	2	2	20
16	幼稚園等5年目経験者研修	3	3	37
17	小・中学校5年目経験者研修	4	4	207
18	高校6年目経験者研修	4	4	85
19	特別支援学校5年目経験者研修	4	4	27
20	養護教員5年目経験者研修	4	4	13
21	高校実習教員6年目経験者研修	2	2	8
22	幼稚園等中堅教諭資質向上研修	8	8	16
23	小・中学校中堅教諭資質向上研修	12	9	131
24	高校中堅教諭資質向上研修	9	9	57
25	特別支援学校中堅教諭資質向上研修	8	8	21
26	中堅養護教員資質向上研修	10	10	8
27	中堅学校栄養職員資質向上研修	3	3	5
28	高校中堅実習教員資質向上研修	1	1	4
29	小・中学校15年目経験者研修	2	2	101
30	高校15年目経験者研修	2	2	58
31	特別支援学校15年目経験者研修	2	2	16
32	養護教員15年目経験者研修	2	2	12
33	高校実習教員15年目経験者研修	1	1	4
小計	基幹研修（33講座）	215	195	1,975
1	新任幼稚園長等研修	2	2	20
2	新任校長研修	3	3	112
3	新任副校長・教頭研修	3	3	145
4	新任事務長研修	2	2	25
5	新任幼稚園教頭・主任等研修	1	1	16
6	新任教務主任研修	2	2	97
7	新任生徒指導主事研修	2	2	54
8	新任小学校生徒指導主任研修	2	2	52
9	新任進路指導主事研修	2	2	73
10	新任保健主事研修	1	1	105
11	新任学年主任研修	1	1	148
12	新任研修主任研修	2	2	107
13	新任道徳教育推進教師（新任道徳主任）研修	1	1	112
14	新任情報主任研修	2	2	47
15	新任高校特別支援教育コーディネーター研修	1	1	29
16	新任事務長代理・副主幹研修	2	2	11
17	新任事務主任研修	2	2	12
18	新任栄養教諭研修	2	2	9
19	ミドルリーダー研修	4	4	112
20	教科等エキスパート研修	3	3	17
21	小学校英語教育推進教員研修	3	3	288
22	中学校英語教員指導力向上研修	6	2	53
23	高校英語科教員指導力向上研修	3	3	70

24	特別支援学校・特別支援学級等新任者研修	3	3	86
25	特別支援学校専門アドバイザー等研修	1	1	26
26	県立学校公仕研修	2	1	69
27	特別支援学校寄宿舎指導員研修	1	1	41
28	体育科・保健体育科研修	5	1	132
29	中学校免許外教科担当教員研修	5	1	23
30	キャリア教育実践研修	2	2	70
31	高校道徳教育・主権者教育実践研修	1	1	84
32	携帯・インターネット問題対策研修	2	2	280
小計	指定研修(32講座)	74	61	2,525
1	国語科研修講座	2	2	82
2	算数・数学科研修講座	1	1	69
3	理科研修講座	4	4	58
4	音楽科研修講座	1	1	24
5	図画工作科・美術科研修講座	2	2	34
6	安全な柔道授業づくり研修講座	1	1	13
7	技術科研修講座	4	4	27
8	家庭科研修講座	1	1	28
9	共通教科情報研修講座	2	2	11
10	道徳の授業づくり研修講座	1	1	42
11	世界遺産<富岡製糸場と絹産業遺産群>についての授業づくり研修講座	1	1	4
12	小学校学級担任英語指導力向上研修講座	2	2	27
13	進路実現をサポートする教科指導力向上研修講座	4	4	35
14	幼児教育研修講座	1	1	69
15	専門性を高める養護教員研修講座	3	3	48
16	学校事務職員スキルアップ研修講座	5	5	50
17	専門性を高める学校図書館担当職員研修講座	1	1	11
18	実際に見る・触れる・体験する環境教育研修講座	2	2	15
19	高校専門教育研修講座	15	9	91
20	ICT活用力向上研修講座	5	4	50
21	理科実習教員研修講座	1	1	8
22	特別支援教育充実研修講座	1	1	89
23	発達障害児学習支援研修講座	2	2	256
24	心理検査研修講座	1	1	42
25	いじめ防止研修講座	1	1	13
26	互いに認め合う学級づくり研修講座	1	1	10
27	英語科授業づくり研修講座	1	1	56
28	気になる幼児の保育研修講座	1	1	102
29	ぐんま教職員キャリアアップ研修講座	1	1	22
30	異校種異動者研修講座	3	2	11
31	異校種異動に伴う高校教科指導力向上研修講座	9	9	4
32	小・中学校臨時的任用教職員研修講座	3	3	272
33	高校・特別支援学校臨時的任用教員及び非常勤等職員研修講座	2	2	54
34	教育相談初級研修講座	6	6	89
35	教育相談中級研修講座	5	5	52
小計	希望研修(35講座)	96	88	1,868
1	これからの幼児教育を考える	1	1	291
2	キャリア教育を考える	1	1	11
3	中学生ものづくり支援講座	2	2	7
4	外国人児童生徒等に対する日本語指導研修講座	1	1	36
小計	公開講座(4講座)	5	5	345
総計	104講座	390	349	6,713

※ 開催日数…センターが当該研修講座を開設する日数

※ 研修日数…研修者が当該研修に参加する日数（終日研修、半日研修ともに1日としてカウントする）

## 5 その他（出前講座による研修支援）

### (1) 支援の実績

各学校園、教育委員会や研究所等からの要請を受けて、各種研修会などに指導主事を「研修支援隊」として派遣し、授業研究会での指導助言やワークショップ等の研修支援を行った。

（ ）内は平成28年度

分類	件数	対象（校種等）	件数	地域等	件数
幼児教育	1（2）	幼稚園	2（2）	中部	19（15）
授業改善	50（59）	小学校	43（52）	西部	16（10）
児童生徒理解	12（13）	中学校	30（20）	吾妻	1（4）
特別支援教育	18（15）	高等学校	26（21）	利根	8（8）
情報教育	40（17）	中等教育学校	1（0）	東部	46（44）
学校・学級経営	2（1）	特別支援学校	6（4）	県立・組合立	28（24）
その他	2（3）	教育委員会等	17（11）	その他	7（5）
総計	125（110）	総計	125（110）	総計	125（110）

### (2) 成果と課題

○情報モラルやICT活用などの情報教育の在り方、道徳の教科化への方向性、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善、児童生徒理解に基づく学級経営、発達障害への支援など、各学校園等のニーズに応じた研修支援を行うことができた。

○各校や市町村教育委員会との連携を図りながら、研修支援隊の実施日や回数等の調整を行い、学校園からの要望に応じた研修をより多く実現できるようにしていく必要がある。

## II 教育研修員研修事業

### 1 概要

教員の資質能力の向上を図るために、教育の今日的課題の解決や実践的指導力の向上を目指した研究、長期社会体験による研修を行い、優れた識見と指導力を身に付けた教育活動の推進者を育成した。長期研修、長期社会体験研修、特別研修の3種類の研修を実施した。

#### <研修の基本方針>

種別	基本方針
長期研修	本県の教育課題を踏まえた研修を通して、適切な指導・助言力を身に付けるとともに、所属校や地域の中核として指導的な役割を担うことのできる人材を育成する。
長期社会体験研修	企業等における研修を通して、社会的識見や教科の専門性を深めるとともに、本県のキャリア教育の中核として指導的な役割を担うことのできる人材を育成する。
特別研修	授業実践を通して、教科指導力を高めるとともに、所属校や地域において指導的な役割を担うことのできる人材を育成する。

## 2 実績

### (1) 研修員数

種 別	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	中等教育校	特別支援学校	合 計
長期研修	0人	12人	9人	2人	0人	1人	24人
長期社会体験研修	0	1	0	3	0	0	4
特別研修	2	20	18	15	0	1	56
合 計	2	33	27	20	0	2	84

### (2) 研究領域等

#### ① 長期研修の研究領域

研 究 領 域	研修員数	研 究 領 域	研修員数
国語	2人	特別活動	1人
算数、数学	2	特別支援教育	1
理科	1	生徒指導・教育相談	2
音楽	1	健康教育	1
図画工作、美術	1	教育の情報化	1
外国語	1	英語教育カリキュラム開発	5
道徳	2	高校教育の改善	2
外国語活動	1		

#### ② 長期社会体験研修における研修先企業

義務校教員の研修先	研修員数	県立校教員の研修先	研修員数
群馬ヤクルト販売株式会社	1人	株式会社SUBARU	1人
		株式会社ベイシア	1
		株式会社ミツバ	1

#### ③ 特別研修の研究領域

研 究 領 域	研修員数	研 究 領 域	研修員数
国語	6人	工業	2人
社会、地歴、公民	6	商業	1
算数、数学	6	道徳	7
理科	6	外国語活動	1
音楽	1	総合的な学習の時間	1
体育、保健体育	2	特別活動	3
家庭、技術家庭	1	幼児教育、幼小連携	2
外国語	2	特別支援教育	3
農業	1	生徒指導・教育相談	5

### 3 成果と課題

#### (1) 長期研修員

##### ① 成果

- 特別研修や長期社会体験研修の検討会や所属校の校内研修に積極的に参画し、研究・研修を支援することにより、研修員の指導助言力を高めることができた。
- 高校教育の改善に関する研究では、カリキュラム・マネジメントの実現に向けて、県内外先進校視察とグランドデザイン作成のための校内研修を行い、組織的な授業改善意識の向上のための提案をすることができた。

##### ② 課題

- 教材開発研究や調査研究等の充実や高校教育の改善に関する研究を更に推進し、研究成果を積極的に県内の学校等へ普及していく必要がある。

#### (2) 長期社会体験研修

##### ① 成果

- 企業等における1年間の研修や公共職業安定所・他業種の企業視察等を通して、社会的識見や教科の専門性を高めるとともに、キャリア教育の中核として指導的な役割を担うために必要な知見を得ることができた。
- 企業等での体験を踏まえた授業を所属校で実践したり、学校組織の活性化に向けた校内研修を実施したりするとともに、研修の成果を資料「キャリア教育リーフレット」にまとめるなど、本県のキャリア教育の推進に資することができた。

##### ② 課題

- 本県のキャリア教育の質的向上のため、所属校との連絡調整を密に取りながら、実践する授業や校内研修の一層の充実を図る必要がある。

#### (3) 特別研修

##### ① 成果

- 本県の教育課題や教育方針を基に、研究テーマを掲げて授業を構想し、指導案づくり、模擬授業、授業実践、評価・改善の検討を繰り返し行うことで授業改善を図り、教科等の指導力を高めるとともに、地域等において指導的な役割を担う人材の育成を図ることができた。
- 児童生徒の実態に応じた授業等の実践の公開を通して、所属校や地域の教職員の教科等の指導力向上に寄与することができた。

##### ② 課題

- 公開授業において、より多くの参加者を得ることで多様な視点からの検討を充実させていくとともに、教科等の指導力を更に高め、より質の高い授業につなげていくことが必要である。